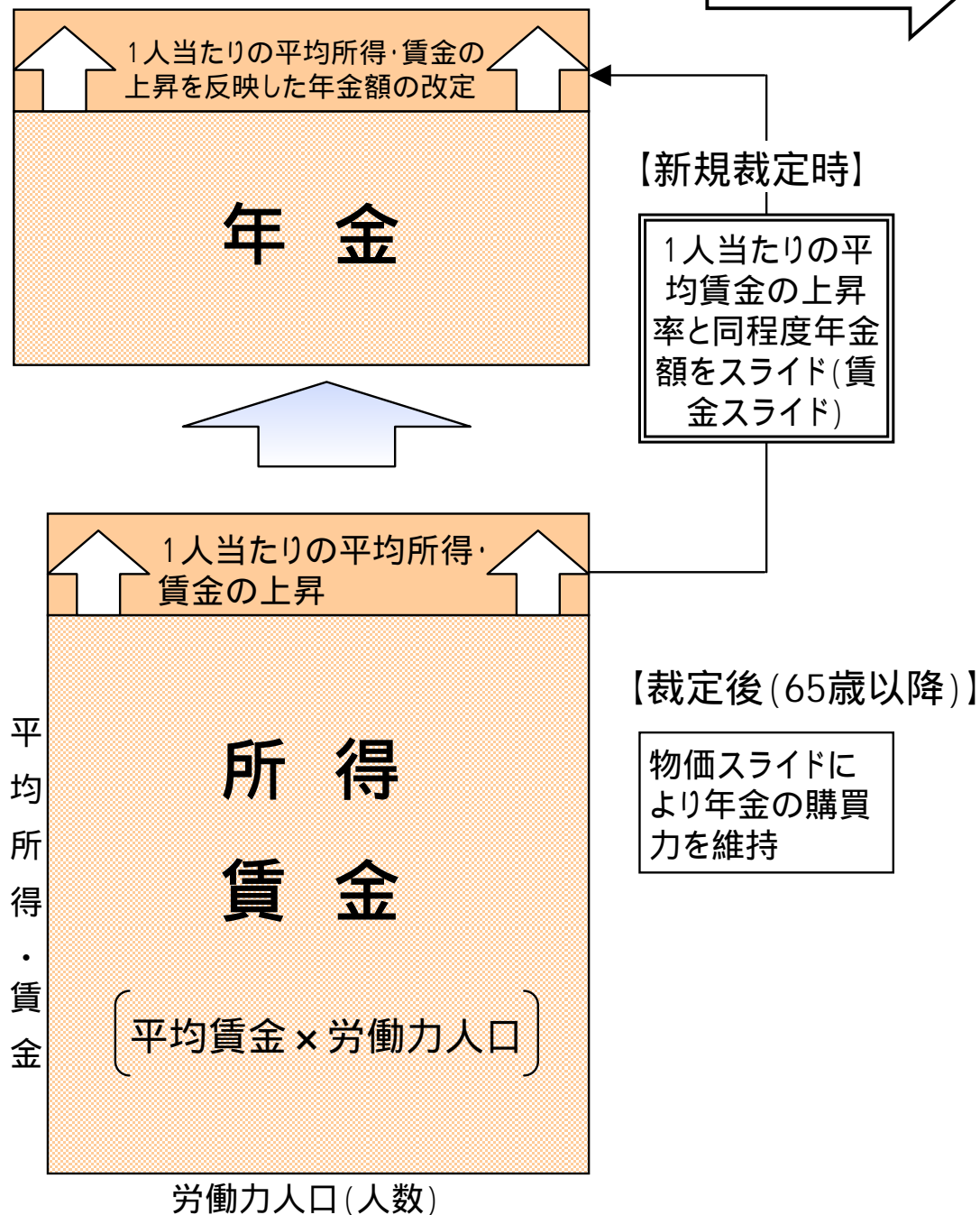
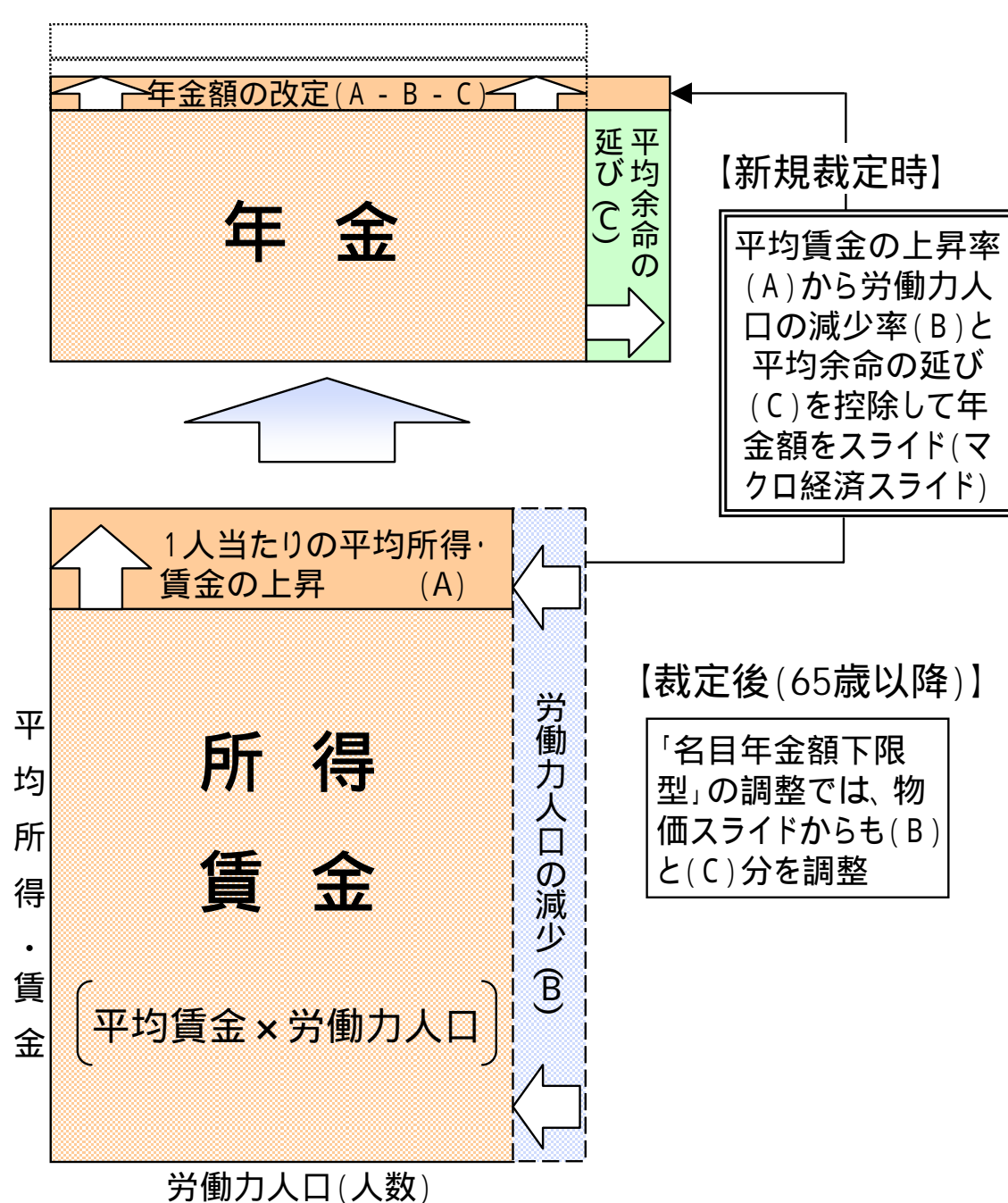


《現在の年金額改定(スライド)》



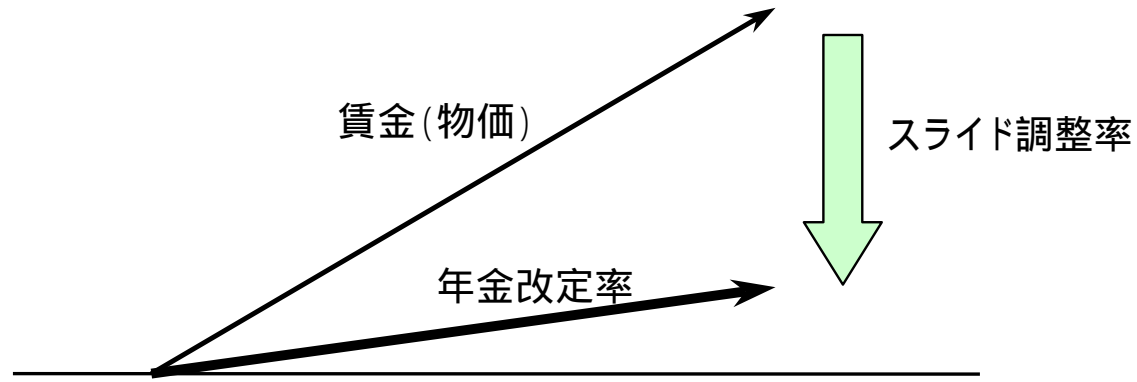
《マクロ経済スライドによる自動調整》



年金制度を支える力(保険料賦課のベース)は、社会全体の生産活動が生み出す所得や賃金

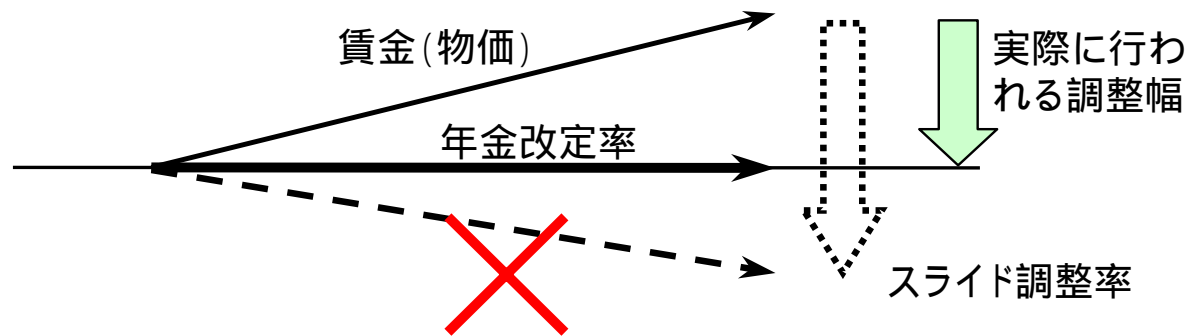
今後労働力人口が減少していく中で、平均賃金が増加しても、それと同程度に年金制度を支える力(保険料賦課のベース)である社会全体の所得や賃金は増加しない。

ある程度、賃金(物価)が上昇した場合



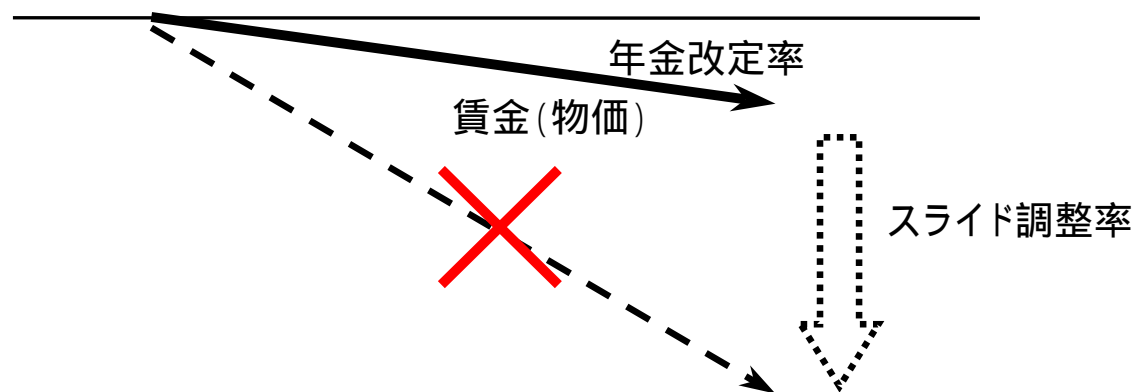
・賃金(物価)上昇率 > スライド調整率
スライド調整を行う

賃金(物価)上昇が小さい場合



・賃金(物価)上昇率 < スライド調整率
スライド調整を行う
(年金改定率は、マイナスとしない)

賃金(物価)が下落した場合



スライド調整は行わない